

愛知県

支援事業に参加した成果

- モデル圏域における地域移行支援については、推進会議において、地域が病院へ協力する方法等について広域 AD から助言を頂き、連携して携わる必要性を共有できた。反面、介護保険分野との連携についての課題が解消されず、今後の課題と感じた。
- 地域移行・地域定着支援推進研修については、企画段階から密着 AD に助言を頂き、研修内容の充実を図ることができた。研修当日、広域 AD は講師、密着 AD は助言者として参加予定。(3 月開催)

支援事業での取組

- (研修会の開催) 地域移行・地域定着支援推進研修の実施。
- (広域 AD 現地支援) 豊川保健所地域移行支援推進会議へ助言者として参加。

モデル圏域における具体的な取組

(協議の場の開催状況)

日時：平成 30 年 1 月 16 日 (火) 午後 2 時から 4 時まで

会議名：地域移行支援推進会議 参加者：精神科医療機関、基幹相談支援センター等 36 名

内容：精神科病院入院患者の現状、各機関の取組み等についての報告及び意見交換

(その他、具体的な取組内容)

- 「東三河南部圏域 地域移行・地域定着支援研修」の開催
- 『『見守り大家さん』研修・交流会 in 豊橋』の開催
- 病院職員向け地域移行支援研修を、基幹相談支援センターが精神科病院へ出向き実施 (豊橋市)
- 病院へのアンケート調査を基にした病院訪問の実施 (豊川市、蒲郡市)
- 高齢者支援センターとの勉強会の実施 (田原市)
- 受給者証を必要としない (全ての市民を対象とした) 地域活動支援センター (I 型) の設置 (田原市)
- 市自立支援協議会権利擁護部会において地域包括ケアシステムの構築に関する集中議論 (田原市)

モデル圏域における退院支援の状況

【退院支援を実施した者の人数】 19 名 (地域移行支援事業利用者実人数) 豊橋 6 豊川 3 蒲郡 5 田原 5

【そのうち、退院した者の人数】 12 名 豊橋 3 豊川 2 蒲郡 3 田原 4

平成 30 年度 取組方針

(モデル圏域における取組方針)

・平成 29 年度の活動を継続実施。研修会を地域移行に対応した相談支援専門員の育成の場、病院関係者との連携の場としていく。地域移行支援推進会議において保健所、基幹センター、地域アドバイザー、病院関係者との連携をより密接にしていく。各市の基幹センターを中心に病院との連携を図り、病院内の各市の支援対象者を把握していく。

(県の取組方針)

・モデル圏域の取組や連携方法等を参考として、他の圏域における地域移行や関係機関の連携が進むよう、地域移行・地域定着支援推進研修等を通じて、取組の紹介や情報共有を行い、各圏域での地域移行の推進を支援していく。